



日本共産党平塚市議会議員団

団長 松本敏子

電話・fax 59-4607

mail@matsumoto-toshiko.jp

幹事長 高山和義

電話・fax 31-4638

k.takayama@mb.scn-net.ne.jp

日本共産党平塚市議会議員団

電話 0463-23-1111 (内線 2375)

平塚市浅間町9-1 平塚市議会控室

No.1727 2025年3月2日発行

日本共産党議員団の法律相談

今回は3月21日(金)です

午後2時~4時 (要予約)

- 議員団にご連絡ください。

「かなちゃん手形」の IC 化で 1年券が 10,800 円から 54,000 円に!



今年3月から69歳以上の人を対象に発売する「かなちゃん手形」が、IC化されることに伴い、1年券が10,800円から54,000円に引き上げられることとなり、各地から「これではもう、買えない!」との声が出ています。

2月25日、日本共産党県央議員団と、あさか由香参院予定候補は、神奈川中央交通本社(平塚市内)に伺い、要望書を手渡すとともに、実情を伺いました。

自治体	期間	金額	助成額	自己負担額
厚木市	1年券	10,800円	7,800円	3,000円
愛川町	1年券	10,800円	5,400円	5,400円
清川村	1年券	10,800円	7,000円	3,800円

厚木市、愛川町、清川村では、上の表のように、高齢者の社会参加や健康づくり、生きがいづくりを支援するため、自治体独自に「かなちゃん手形購入費助成」を行っています。

厚木市では今年度、高齢者の外出をより一層支援するとして、助成額を4,800円から7,800円に上げたため、前年度8,600人の利用が2024年度は1万1,000人に増えました。

自己負担3,000円でかなちゃん手形を購入し、1回の乗車は100円で利用できるため、とても助かっているといいます。

ところが、昨年12月20日、神奈中が今年3月に1年券では54,000円の「ICかなちゃん手形(仮称)」を発行し、現在のかなちゃん手形は6~8月期間を最後に発売を終了することを発表しました。厚木市では、令和7年度予算は今年度同様に7,800円の助成額を計上していますが、高齢者は46,200円の自己負担となるため「そんな額払えない!」と悲痛な声が出ています。

神奈川中央交通では

25日に神奈中本社を訪れたのは、あさか由香参議院神奈川選挙区予定候補、栗山香代子議員(厚木市議)、鈴木信一議員(愛川町議)、高山和義・松本敏子議員(平塚市議)の5人。

神奈川中央交通の運輸営業部の渡部潤一次長は、決して値上げをしたわけでは

ないと説明。

かなちゃん手形を申し込むときに、皆さんに「週に何回くらい使用するか」というアンケートを取っている。その中で一番多かつ

たのが「週4~5回」だった。週4.5回利用したとすると、月18回乗車となる。その都度往復に200円を払っていただくため、年間になると43,200円となる。10,800円と43,200円を合わせると54,000円、つまり年間の負担額は変わらない。逆に「今までより安くなる」と喜ぶ声も聴いているというのです。

なぜ、今IC化なのか?

いま、バスの運転手不足は深刻となっています。大手のバス会社では運賃のキャッシュレス化が進み、国土交通省の調査では2022年3月末時点で、主要なバス会社の88.4%がキャッシュレス決済になっているといいます。

現金の受け渡しや運賃箱の管理などが運転手にとって負担となっており、キャッシュレス化をしないと楽な事業所に運転手が流れてしまうため、IC化は運転手確保に欠かせない条件となっているとのこと。

今回、神奈中では紛失した場合は払い戻しをするとしているため、助成をしている自治体としては税金が個人の資産になる可能性もあり、非常に難しい判断を迫られています。

県央議員団は、①SuicaやPASMOを使っているIC化であり、1乗車ごとの100円をICカードから引き落とす方法も検討してほしいこと、②完全なIC化まであと1年間あることから、高齢者の声をもっと聴いて、真に高齢者の足の確保、社会参加を促すものとなるよう検討してほしいと要望しました。

今年 平塚空襲・終戦から 80 年 平塚市核兵器廃絶平和都市宣言から 40 年 2月20日、「アンネのバラ」植樹式開催



終戦から 80 年、核兵器廃絶平和都市宣言をして丁度 40 年となる今年は、年間を通して平和行事を行ってゆくという平塚市。

20 日は、その一環として八幡山公園に「アンネのバラ」が植えられました。



「アンネ・フランクの形見」と名付けました。

日本のホロコースト記念館の館長さんとオットーさんに運命的な出会いがあり、館長さんにそのバラの苗が送られてきました。その苗を接ぎ木で次々と増やし、アンネが願っていた平和のシンボルとして日本の各地に広がり美しく咲いているといいます。黄色がかったオレンジの「アンネのバラ」が咲いてくれるのを みんなで見守りたいですね。この苗の植樹は、市長をはじめ、I LOVE PEACE 事業運営委員長、市民広島派遣参加者代表、八幡山の洋館代表の方々によって行われました。

「アンネのバラ」とは

「アンネの日記」で有名なアンネ・フランクはドイツ生まれのユダヤ人少女です。

1933 年から第二次世界大戦中に、ナチスドイツとその同盟国や協力者たちは、ユダヤ人というだけで強制収容所に入れ、組織的迫害と殺戮を行ったのです。これをホロコーストといいます。

アンネはナチスにつかまりアウシュビッツ強制収容所に入れられ、その後、別の強制収容所でチフスに罹り、15 歳の短い生涯を閉じました。

家族も犠牲になる中、父親(オットー・フランク)だけは生き延び、アンネの帰りを待っていましたが、叶いませんでした。ベルギーの園芸家から、オットーさんに新種のバラの苗が送られてきて、それを

中学校給食が始まってそろそろ半年 物価高騰対策や現状を担当課に聞く

中学生に「給食はどう？」と聞くと「おいしい！」との声。「でも、ちょっと足りない時もある」とも。特に米食が多いので食が進むのでしょうか。学校給食の物価高騰対策などについて、学校給食課に聞きました。

●平塚市でも物価高騰対策として国の交付金が投入されている。現状と令和 7 年度の見込みについて伺う。

回答

令和 6 年 4 月から 12 月までに実際にかかった食材費の総額は小学校分で 4 億 9447 万 1059 円。中学校分は(実施は 9 月から)1 億 3990 万 9162 円である。令和 6 年度は、小・中学校合わせて 3416 万 1000 円を補助したが、食材費価格が上昇していることを踏まえ、令和 7 年度はさらなる増額を検討し、小・中学校分合わせて 1 億 7325 万 9000 円を公費で補助することとした。

●全国では第 3 子には無料、小・中学生全体に半額など、交付金を大きく投入している自治体もある。平塚市では検討されているのか。

回答

特定の学年を無償化した場合いくらかかるかなど、状況把握に努めているが、今のところ実施する具体的な考えはない。今回も、小・中学校 9 学年を対象とした物価高騰対策としての補助の実施を考えている。

●中学校給食が始まり、地場産の食材需要が増大したが、対応状況はどうか。

回答

令和 6 年 9 月の台風 10 号を始めとした天候不順で地場産野菜の収穫量に影響が出たため、小学校給食で使用した地場産野菜の量は例年より下回った。小・中学校全体の使用量については、単独調理場分も合わせて 3 月末の把握となる。

●中学校給食が始まったことにより、兄弟姉妹がいる家庭で滞納が増えたということはないか。

回答

毎月の口座不能件数(残高不足で引き落とせない)に大きな変化はない。ただ、中学校給食が始まり、給食数が増えたことにより令和 5 年度よりは増えている。

●不登校児童・生徒への給食費(昼食費)補助は行っているか。

回答

保護者の申し出で、急な登校に備えて給食を継続している場合は補助をしているが、不登校により給食も辞退している場合は補助はしていない。

●食物アレルギーの対応について。

回答

食物アレルギーとなる卵、牛乳・乳製品、えびの除去食は小学校 88 人、中学校では 37 人。そば、落花生は元から使用していない。

来週(3月9日号)は、議会对応のため「議員団ニュース」の発行をお休みさせていただきます。3月16日号からは平常通り、しんぶん赤旗への折り込み、駅頭での配布を行います。ご理解賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。